



6月の園だより

社会福祉法人 **であいの里 さやま保育園**
2026年6月1日発行

今月の行事予定

- 1日～9/30 わくきら!夏あそび 1日 造形あそび
- 2日 歯科検診 9・25日 礼拝 8日 奉仕作業
- 8日～12日 参観日ウィーク(うさぎ・りす)
- 発育測定(12日あひる・ひよこ/15日うさぎ・りす/
- 17日ぞう・きりん) 16・30日 ぞう・きりん交流保育
- 18日 クッキー作り 19日 誕生会
- 22日 地震・避難訓練 24日 カレークッキング(ほし)



「なりたいモデル」～中学生の職場体験から～

さやま保育園が異年齢保育をすすめる目的の一つに、園児のそばになりたいモデルがいること。小さい子が大きい子の姿の中に、「かっこいい」「こんなことができるようになりたい」と思えるモデルがあることが、子どもの主体性を育てることになるからです。小学生や中学生が来てくれて職場体験してくれることは、園児にとっては、素敵なモデルと出会うことにもなります。

5月に川西中学校の2年生が職場体験に来てくれて、お礼状をいただきました。「散歩をする時には優しく声かけをする、バスやトラックを見つけたときにはいっしょに喜ぶ、安全に気をつけるなど子どものことを本当に思っていることを感じました。」「食事の時も、無理に食べさせるのではなく子どもに聞きながら食べさせていた。」「広場で遊ぶ時も熱中症対策をして、子ども達が元気に遊べるようにしていた。」「お昼寝中も、連絡ノートの確認をしたり飾りを作ったり、行事の準備をしていることがわかった。でも、わからないことは丁寧に教えてくださり、自分たちが園児の時も大変だったんだと知り感謝しかありません。」「怪我をしないかいつも周りを見ていて、命を預かると言う責任の重さがわかりました。」

「子ども達は走ることがとても好きなので、毎日となると体力がとても必要な仕事だと感じました。」「小さな子と手を繋いで歩いたり、歌ったりする時間はとてもほっとする時間でした。私の手をぎゅっと握ってくれたり、泣いていた子を抱っこしてあげたら安心して泣き止んだり、いっしょに遊んだ子が寝ている姿を見ると私が幸せな気持ちになりました。」など、2日間の職場体験を通して、中学生のみなさんにとって保育者がなりたいモデルや大人となれていたら、それはとても有り難いことです。

またそれ以上に、こんなにも保育者の仕事、子ども達の姿をしっかりと見つめて体験いただいたことに感謝しています。日頃の姿が見られない保護者のみなさまも、子ども達の姿を思い浮かべられるのではないのでしょうか。

- **保育目標 歓喜 一つよくのびますー
- ・自分で考え、工夫し、友だちとも遊びを楽しむ。
- ・小動物や草花を育てる中で、命の大切さを知る。



【法話】 あみだによらい 阿弥陀如来さま

異常気象で、気温の差が大きく体調を崩す人が多いようです。間もなく梅雨に入りますが、季節の変わり目、暑さに向かい体調管理に気を付けたいと思います。

保育園のお仏壇には、ご絵像の仏さま、お寺には、お木像の仏さまが、ご安置されています。

私たちがいつも合掌礼拝している仏さまは、阿弥陀如来さまという仏さまです。別のお名前

を「阿弥陀さま」「南無阿弥陀仏」「みほとけさま」「ののさま」ともいいます。仏さまは、さとりを得た人、つまり、すばらしいのちを持た

れた方で、「阿弥陀」とは、こうみょうむりよう 光明無量、じゅみょう 寿命

むりよう 無量ということです。阿弥陀如来さまは、いつでも、どこでも、どんなときにも、「わたし」と一緒にいてくださいます。阿弥陀如来さまは、そのすばらしいのちを私たちに働きかけ、まことの道を歩んでくれよと願い続けてくださっています。阿弥陀如来さまのあたたかく大きな心につつまれて、強く明るく、私の「いのち」を精一杯生かさせていただきましょう。合掌



○食前のことば

多くのいのちとみなさまのお陰かげにより、

このご馳走ごちそうを恵まれました。



深くご恩おんを喜び、有り難く、いただきます。